

# 製本のススメ

Vol. 122

アジサイが美しい季節になりました。鎌倉の長谷寺には40種類もの紫陽花が見ごろを迎えているとか。そういえば最近はビニール傘のデザインが豊富になりました。雨の日も楽しむ・・・粋じゃありませんか。

今回は**価値観を磨こう!**の話し

皆さんの休日は、何をして過ごしていますか？ポーっとするのも良いですが、たまには有名ブランド店を覗いてみましょう。宝石でも、靴でも鞆でも、**世に名の通る品とは如何なるものか**を、実際に見てください。できれば店員さんに、なんでこの値段なの？などと尋ねてみてはいかがでしょう。皆 きちんと答えてくれます(もしも、態度が悪いなら、その店は大したことはありません)物に限らず、書画骨董など、まずは本物を ぜひ観てください。其のうえで製品の(作品の)ポイントを押さえておきましょう。こういう作り方だから丈夫なんだとか、この形だから動きやすいんだ等 本物ならではの**ポイントを押えることで、逆に簡略化できるポイントも見えてきます。**

以前何かのコラムで「ファッションセンターしまむら」の人気の秘訣を読みましたがそこには **まず本物を知り消費者のニーズを捉え、どこで手を抜けるのかを知る事**と書いてありました。**そういう感性がヒット商品を生むそうです。**

上製本は高価です！確かに手も費用も掛かり安物ではありません。しかし、素材や大きさを少し変えれば、費用も抑えられます『上製本の見栄え』はそのままで顧客の持つイメージ(価値観)を落としません。また上製本の作り方で並製本を作れば丈夫な中身の冊子ができます。手抜きというと悪いイメージですが、ポイントさえ掴めれば必要以上の事は省けます。世の中の価値観は 今どうなっているのか 何を求めているのか 営業担当ならば ぜひとも磨いてほしい感性ですね。制作担当であってもこの力は磨いて欲しいものです。

お客様は十人十色 あらゆる価値を見つけて教えてくれる営業さんが欲しいのです。



## Tea break

本物といえば、現在 印刷博物館にてヴァチカン教皇庁図書館展が開催されています(7月12日まで) プロジェクションマッピングやVR空間での仮想体験できてルネサンスを味わえます。また貴重庫からは日本の書物も発見され展示されています。上製本の原点をぜひご覧ください。必見の価値有りです。

印刷博物館 website <http://www.printing-museum.org>

弊社ホームページはこちら [www.isekiseihon.com](http://www.isekiseihon.com)

by (株) 井関製本